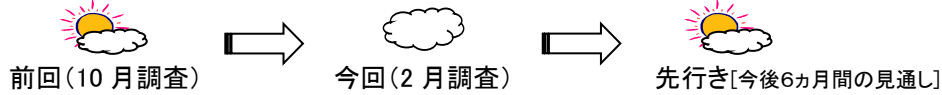




都内企業の景況感

—第123回企業動向調査結果 平成28年2月実施—



◎ 都内中小企業の景況は悪化、先行きは改善を期待。

1. 都内中小企業の景況をみると、自社業況判断DI*が、前回の11.3から今回-4.3へと15.6ポイント低下、悪化している。先行きについて同DI*は2.7へと上昇する見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	11.3	⇒	-4.3 (前回予想 14.7)	⇒	2.7
2. 売上高DI*は、前回の2.7から今回-5.9へと8.6ポイント低下、経常利益DI*は、3.3から-9.0へ12.3ポイント低下した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇の見通し。	売上高 DI*	2.7	⇒	-5.9 (前回予想 5.2)	⇒	-0.3
	経常利益 DI*	3.3	⇒	-9.0 (前回予想 4.5)	⇒	2.9
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回0.3と5.0ポイント低下、仕入れ価格DIは10.0と7.1ポイント低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに低下する見通し。	販売価格 DI	5.3	⇒	0.3	⇒	-4.5
	仕入れ価格 DI	17.1	⇒	10.0	⇒	4.8
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の8.8から今回4.6へと4.2ポイント低下し、運転資金需要DI*は前回の7.6から今回2.8へと4.8ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇の見通し。	製造業製品在庫 DI*	-11.1	⇒	-9.3	⇒	...
	設備資金需要 DI*	8.8	⇒	4.6	⇒	9.8
5. 金融機関借入難易感DIは、今回24.0と1.6ポイント上昇、資金繰りDIは、今回5.9と0.9ポイント上昇した。	運転資金需要 DI*	7.6	⇒	2.8	⇒	5.8
	金融機関借入 難易感 DI	22.4	⇒	24.0	⇒	...
6. 経営上の問題点は、前回と同じ順位となった。第1位は「同業他社との競合」がシェア16.0%、第2位は、「人材難」が14.2%、第3位は、「労働力不足・求人難」で12.9%、第4位は、「売上不振」で12.5%、第5位は、「原材料高・仕入価格高」で7.8%、第6位は、「人件費等経費の増加」で6.8%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.7%、第8位は、「合理化不足」5.1%であった。	資金繰り DI	5.0	⇒	5.9	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.8	⇒	16.0		
	人材難	13.5	⇒	14.2		
	労働力不足・求人難	13.2	⇒	12.9		
	売上不振	12.7	⇒	12.5		
	原材料高・仕入価格高	9.0	⇒	7.8		
	人件費等経費の増加	5.9	⇒	6.8		
	取引先からの値引き要請	5.6	⇒	5.7		
	合理化不足	5.1	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回 6.5、今回-3.7、先行き 3.8)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」今回は「うす曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:柿崎 昭裕)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成27年11月～平成28年2月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第123回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

1. 調査対象企業数	933	3. 回答企業の構成比		
2. 回答企業数	306		(件数)	(%構成比)
	(回収率 32.8%)	製造業	118	38.6
		非製造業	188	61.4
		合計	306	100.0
		従業員 30人以下	136	44.5
		従業員 31～99人	102	33.3
		従業員 100人以上	68	22.2

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が、前回の11.3から、今回-4.3と15.6ポイント低下してマイナス転換し、悪化している。

業種別で見ると、製造業のDI*は、-6.6と18.4ポイント低下し、非製造業のDI*は-2.7と13.8ポイント低下した。

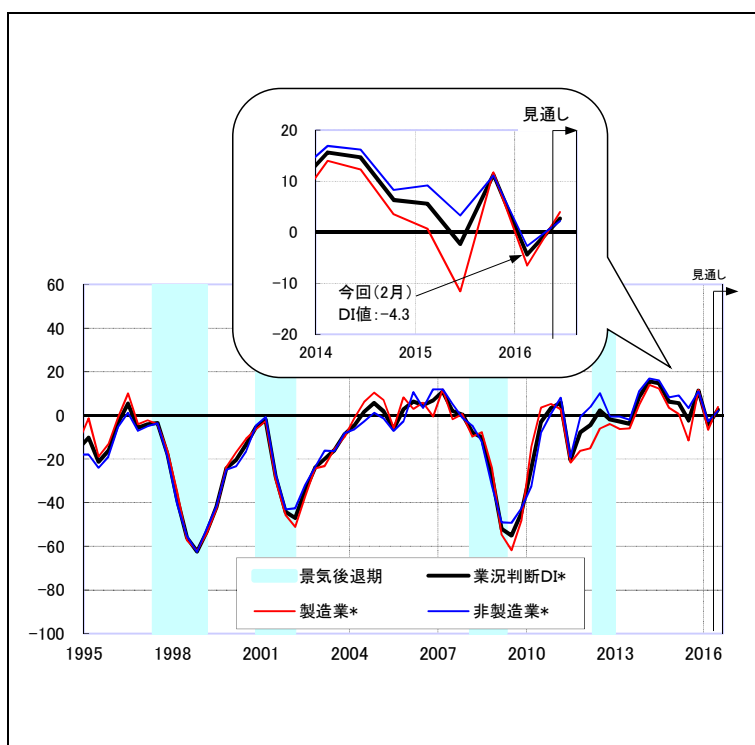
製造業の個別14業種のなかでは、食料品など8業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが低下した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇して、全産業のDI*は2.7とプラス転換する見通し。

(図1)業況判断DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	-2.3	11.3	-4.3	2.7
製造業	-11.6	11.8	-6.6	3.9
非製造業	3.2	11.1	-2.7	2.2



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の 2.7 から今回-5.9 へと 8.6 ポイント低下し、マイナス転換した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回-7.0 と前回から 12.1 ポイント低下、非製造業のDI*は-4.7 と 5.8 ポイント低下した。

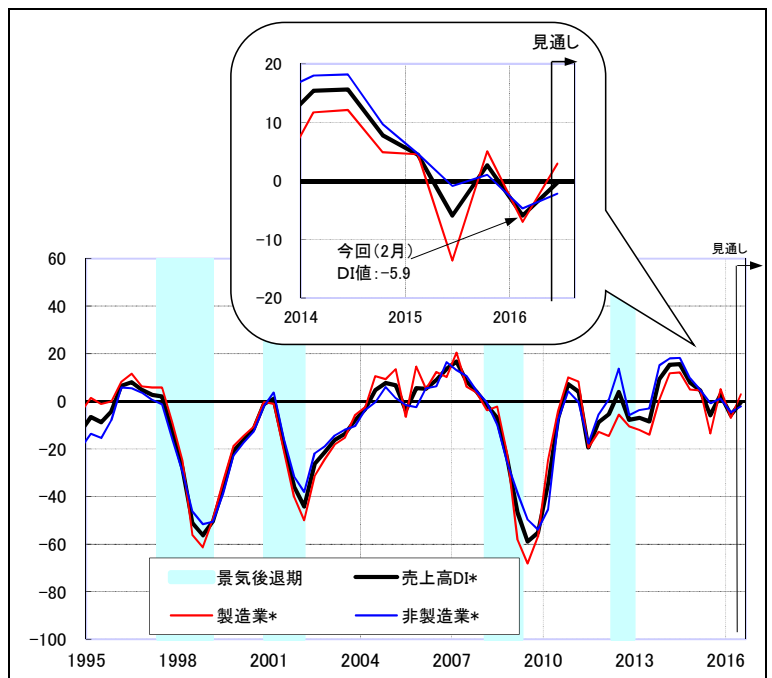
製造業の個別 14 業種のなかでは、鉄鋼・非鉄金属など 7 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など 3 業種のDIが低下した。

先行き(今後 6 ヶ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇し、全産業のDI*は -0.3 となる見通し。

(図2)売上高DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	-5.9	2.7	-5.9	-0.3
製造業	-13.6	5.1	-7.0	2.9
非製造業	-0.9	1.1	-4.7	-2.2



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回-9.0 と、前回の 3.3 からマイナス転換し、12.3 ポイント低下した。

業種別では、製造業のDI*は今回-4.0 と前回から 6.9 ポイント低下、非製造業のDI*は今回-12.0 と 15.6 ポイント低下した。

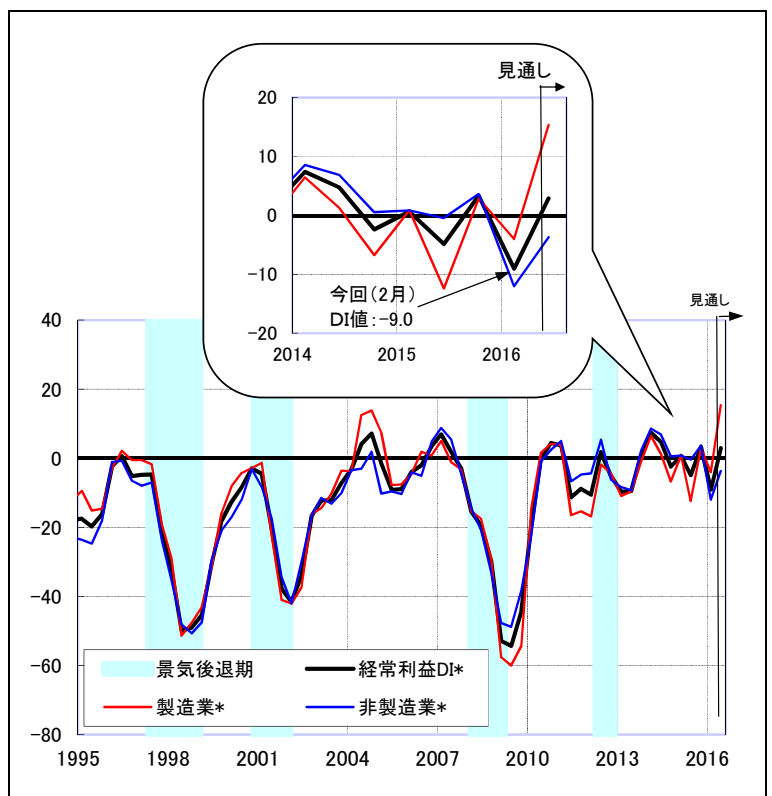
製造業の個別 14 業種のなかでは、食料品など 7 業種のDIが低下した。

非製造業の個別業種のなかでは、サービスなど 4 業種のDIが低下した。

先行き(今後 6 ヶ月間)DI*は、製造業、非製造業ともに上昇し、全産業のDI*は 2.9 となる見通し。

(図3)経常利益DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	-4.9	3.3	-9.0	2.9
製造業	-12.4	2.9	-4.0	15.3
非製造業	-0.4	3.6	-12.0	-3.7



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 0.3 で、前回の 5.3 から 5.0 ポイント低下した。

業種別では、製造業のDIは-2.6 と前回から 1.8 ポイント低下、非製造業のDIは 2.3 と 7.5 ポイント低下した。

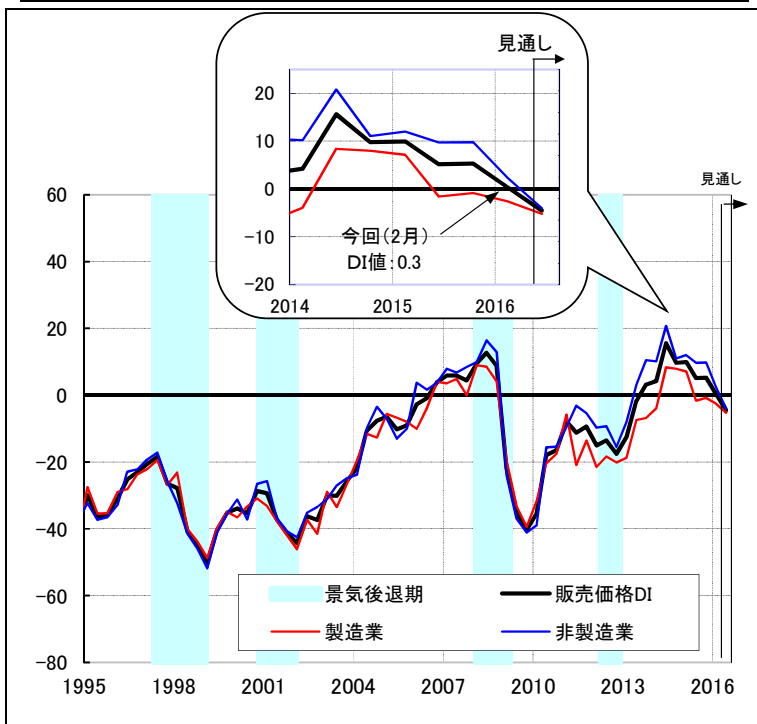
製造業の個別 14 業種のなかでは化学など 5 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など 4 業種のDIが低下した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに低下する見通し。

(図4) 販売価格DIの推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	5.2	5.3	0.3	-4.5
製造業	-1.6	-0.8	-2.6	-5.2
非製造業	9.7	9.8	2.3	-4.0



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 10.0 と前回の 17.1 から 7.1 ポイント低下した。

業種別では、製造業のDIは今回 12.1 と前回より 7.1 ポイント低下、非製造業のDIは 8.6 と 6.9 ポイント低下した。

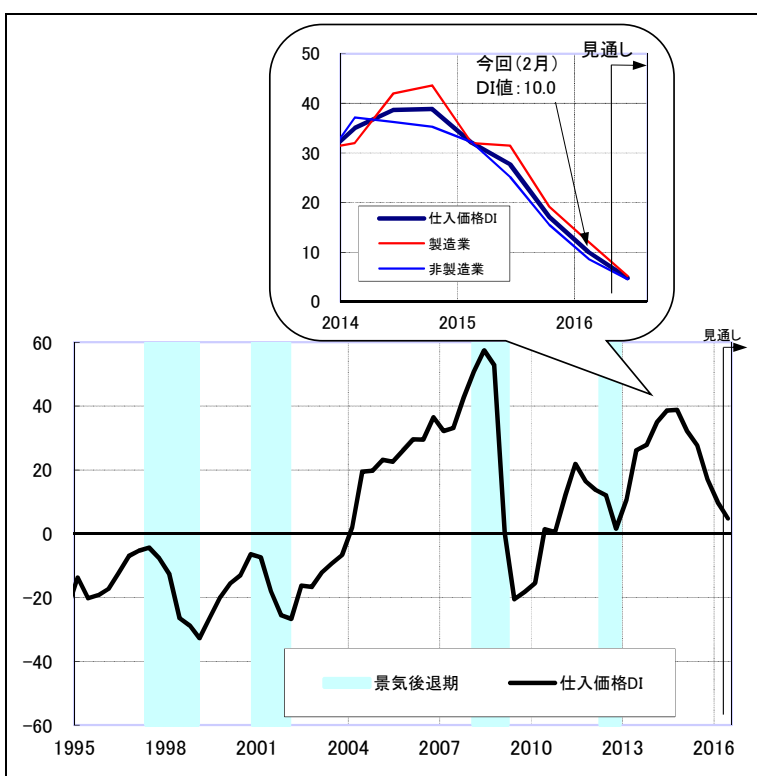
製造業の個別 14 業種のなかでは、食料品など 9 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、卸売など 4 業種のDIが低下した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに低下する見通し。

(図5) 仕入れ価格DIの推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	27.7	17.1	10.0	4.8
製造業	31.5	19.2	12.1	5.2
非製造業	25.1	15.5	8.6	4.6



(6) 製商品在庫

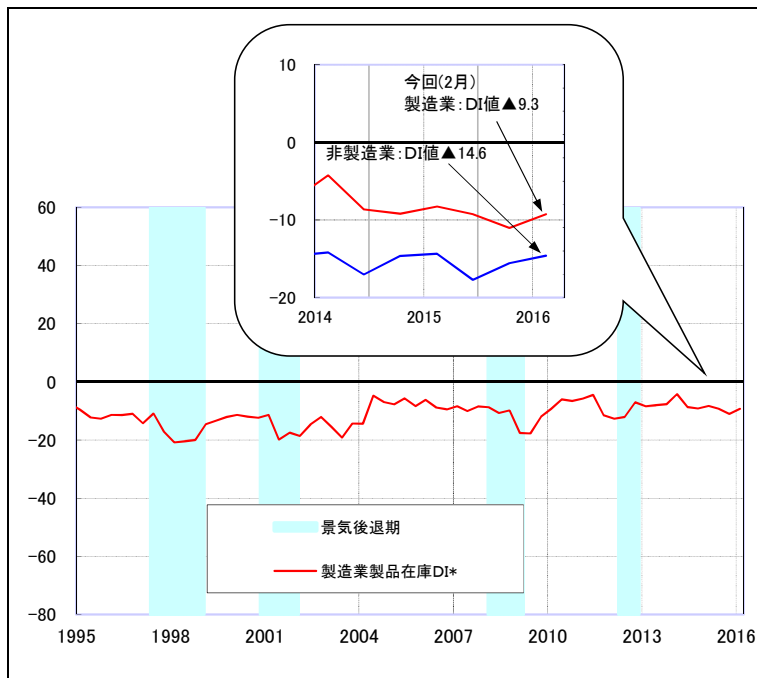
製造業製品在庫DI*は、今回-9.3 と前回の-11.1 から 1.8 ポイント上昇し、非製造業商品在庫DI*は、今回-14.6と前回の-15.6から 1.0 ポイント上昇した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6) 製品在庫DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
製造業	-9.3	-11.1	-9.3
非製造業	-17.7	-15.6	-14.6



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回 4.6 と前回の 8.8 から 4.2 ポイント低下した。

業種別では、製造業DI*は今回 7.6 と前回より 4.6 ポイント低下、非製造業DI*は 4.0 と 2.1 ポイント低下した。

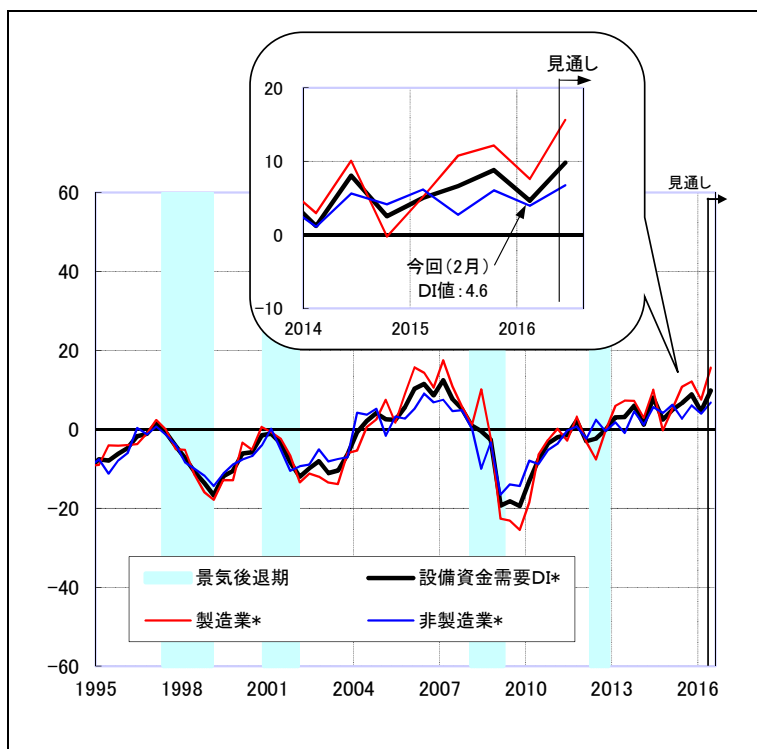
製造業の個別 14 業種のなかでは、電気機器など 7 業種のDIが低下した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、建設など 5 業種のDIが低下した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7) 設備資金需要DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	6.6	8.8	4.6	9.8
製造業	10.8	12.2	7.6	15.6
非製造業	2.7	6.1	4.0	6.8



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回2.8と前回の7.6から4.8ポイント低下した。

業種別では、製造業DI*は今回1.7と前回より2.0ポイント低下、非製造業DI*は3.6と5.6ポイント低下した。

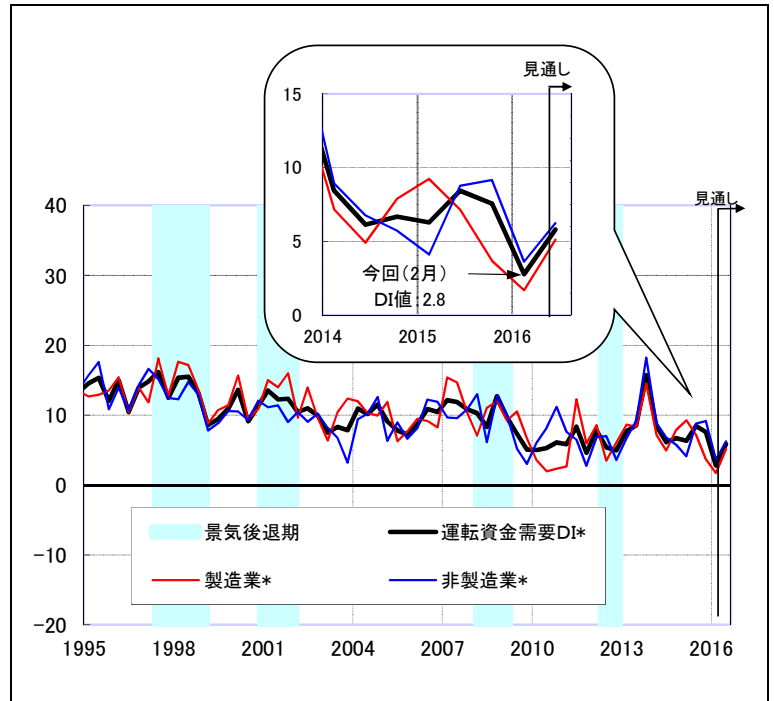
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など5業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが低下した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇の見通し。

(図8) 運転資金需要DI*の推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)	見通し
全産業	8.4	7.6	2.8	5.8
製造業	7.2	3.7	1.7	5.1
非製造業	8.8	9.2	3.6	6.2



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回24.0で前回よりも1.6ポイント上昇した。

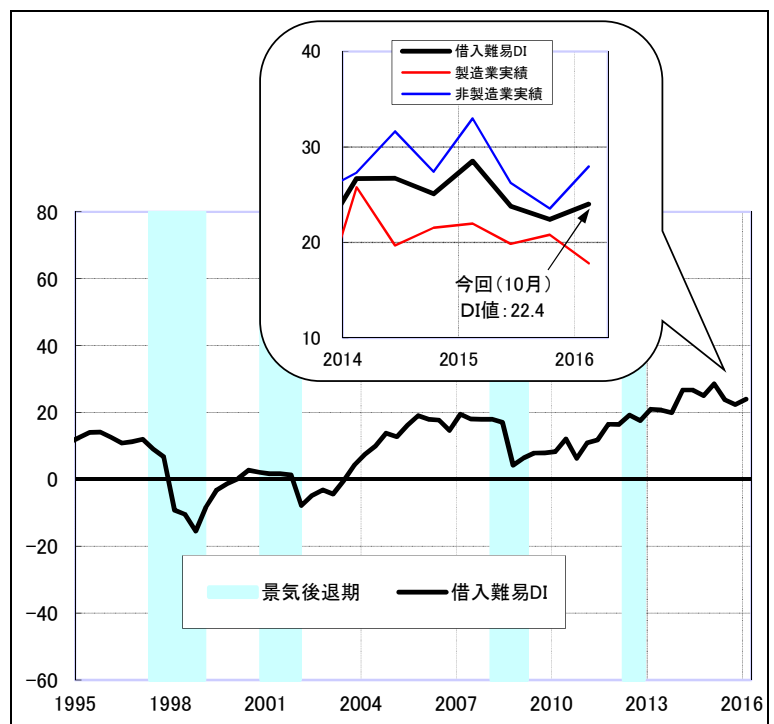
業種別では、製造業のDIは、今回17.8で前回から3.0ポイント低下、非製造業は28.0と4.4ポイント上昇した。

製造業のなかでは、印刷・同関連など8業種でDIが低下した。

非製造業の中では、サービスなど5業種でDIが上昇した。

(図9) 金融機関借入難易感DIの推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
全産業	23.8	22.4	24.0
製造業	19.8	20.8	17.8
非製造業	26.2	23.6	28.0



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 5.9 と、前回の 5.0 から 0.9 ポイント上昇した。

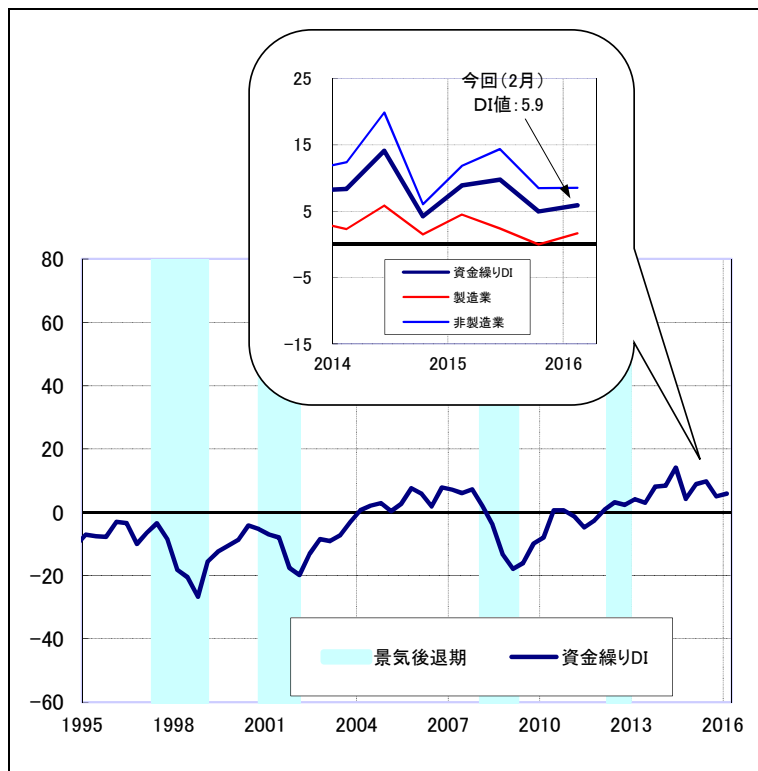
業種別では、製造業のDIは、今回 1.7 と 1.7 ポイント上昇、非製造業のDIは、今回 8.6 と 0.1 ポイント上昇した。

製造業のなかでは、紙・紙加工品など 7 業種でDIが上昇した。

非製造業の中では、情報通信など 4 業種でDIが上昇した。

(図10) 資金繰りDIの推移

	前々回 (6月)	前回 (10月)	今回 (2月)
全産業	9.8	5.0	5.9
製造業	2.4	0.0	1.7
非製造業	14.4	8.5	8.6

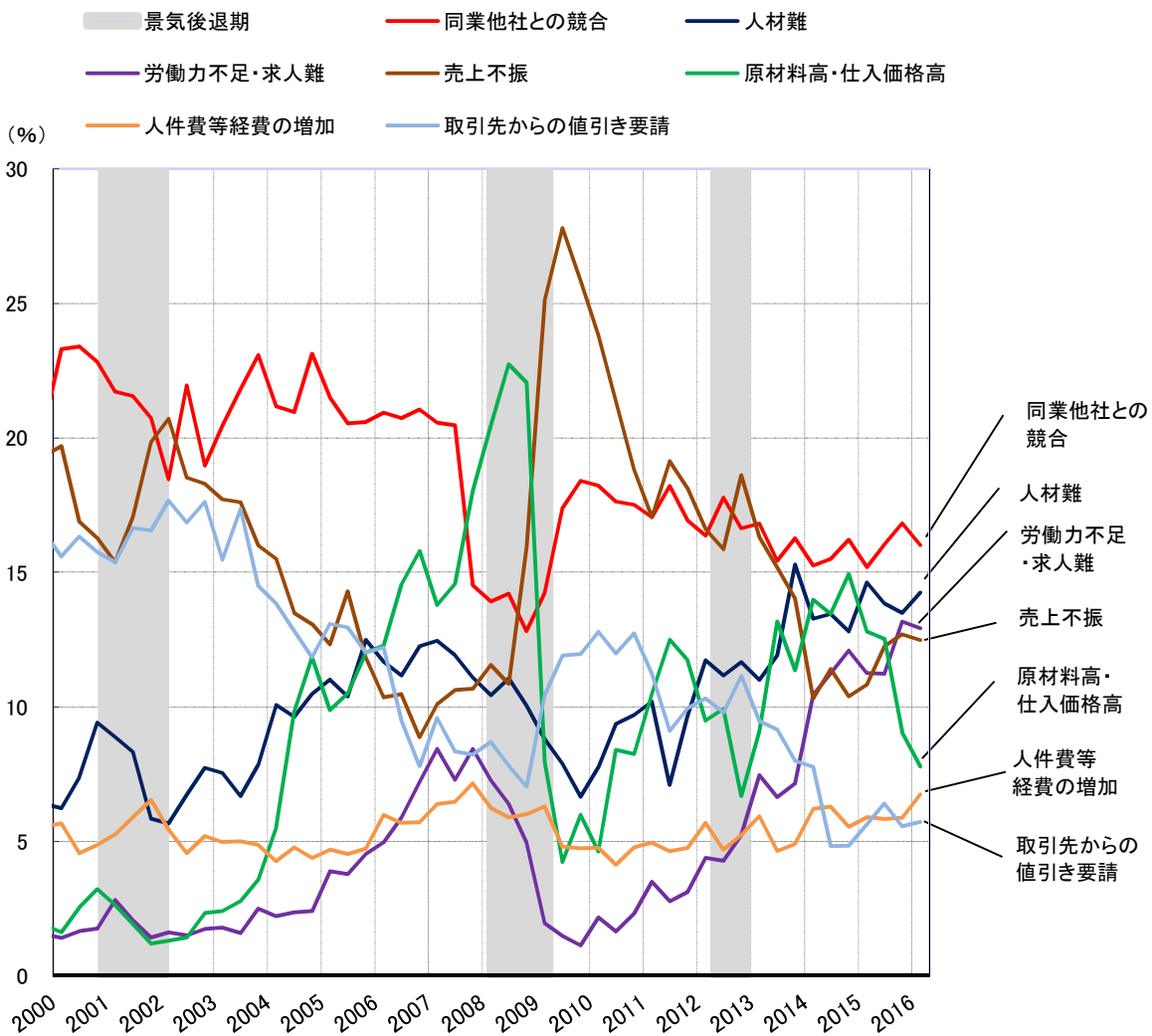


3. 経営上の問題点

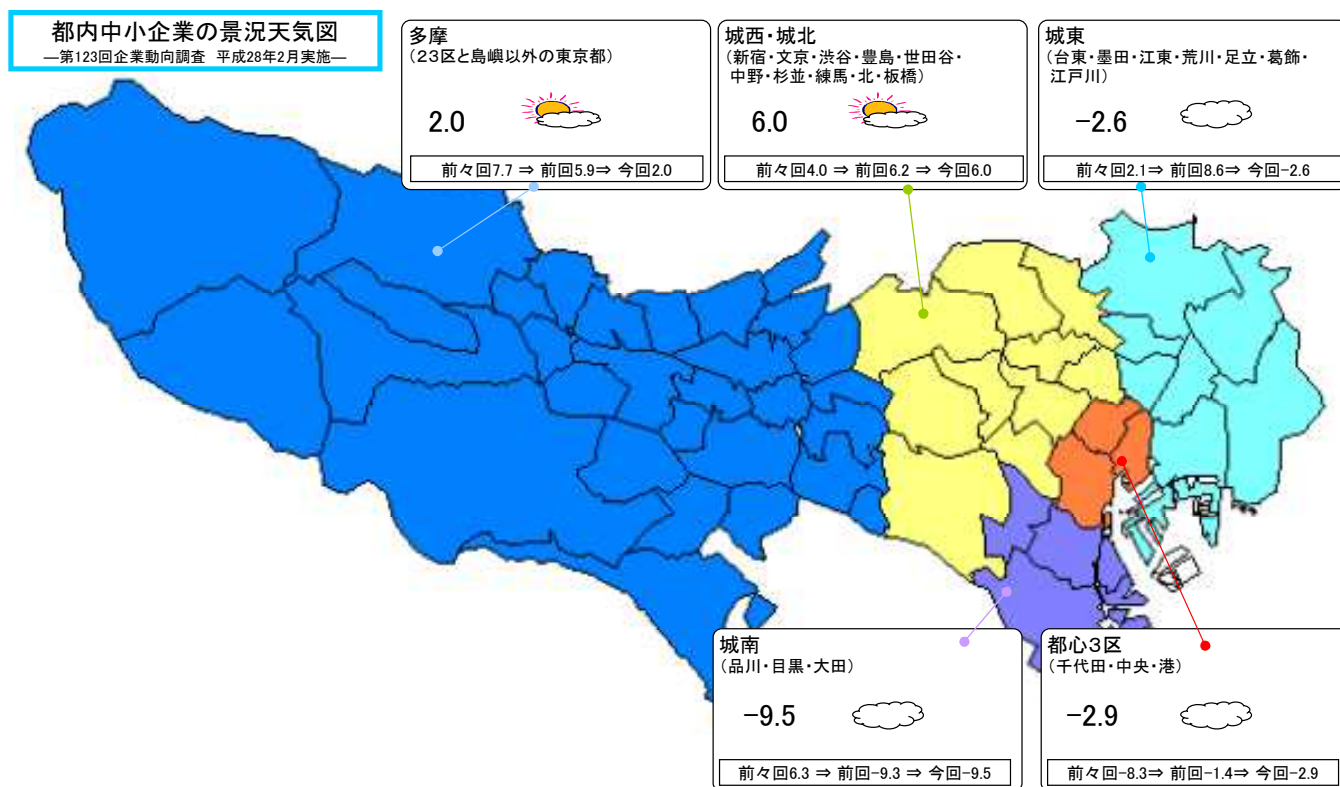
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、2000年～最近時点までをグラフで示したものです。

- 経営上の問題点の各項目の順位は前回と同じだった。
- 第1位は、「同業他社との競合」で構成比は16.0%と、前回の16.8%から0.8ポイント減少した。「同業他社との競合」が最大構成比となるのは、10回連続である。
- 第2位は、「人材難」で構成比14.2%と、前回の13.5%から0.7ポイント増加した。
- 第3位は、「労働力不足・求人難」で、12.9%と、前回の13.2%から0.3ポイント減少した。
- 第4位は、「売上不振」で、12.5%と前回の12.7%から0.2ポイント減少した。
- 第5位は、「原材料高・仕入価格高」で、前回の9.0%から1.2ポイント減少し7.8%となった。
- 第6位は、「人件費等経費の増加」で、6.8%と前回の5.9%から0.9ポイント増加した。
- 第7位は、「取引先からの値引き要請」で5.7%であった。

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

天気図表示 の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断DI、②売上高DI、③経常利益DI、④設備資金需要DIの原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 営業開発部
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>
 <担当：(株)とみん経営研究所 大月>
 TEL： 03-(5570)9281(代)